



Light Bee X

Electric Motorcycle

Owne's Manual

輸入販売元：株式会社コハクジャパン

住所：東京都葛飾区水本3-22-23

製造元：重慶秋龍科技有限公司

住所：中国重慶市大渡口区樅子溪街道四面村259号

郵便番号：125-0032 電話：03-5876-5058

バージョン：Y029A-EN-V1.1

発行日：2025.9.10

乗車前に本マニュアルをよくお読みいただき、電動バイクの特性をよく理解してご使用ください。

本マニュアルは大切に保管してください。本マニュアルには印刷時点での最新製品情報が記載されていますが、お客様のオートバイの外観や設定は本取扱説明書の情報と異なる場合があります。最新の機能紹介や安全ガイドラインについては、当社ウェブサイト <https://surron.jp/>、お問い合わせフォームよりお問い合わせのほどお願いいたします。

本マニュアルは下記のモデル専用の取扱説明書です。



Light Bee 2025年モデル

オフロードタイヤ (前輪 70/100-19 後輪 3.00-18)

航続距離を伸ばすライディングのコツ

電動バイク、ライトビーの航続距離は、ガソリンバイクと同様に変動します。電動バイク、ライトビーの航続距離の変動は、満充電後の走行条件に起因します。運転習慣に加え、エネルギー消費量は環境条件（極寒・酷暑、急勾配の坂道や柔らかい砂地での走行など）にも影響を受けます。満充電1回あたりの最大航続距離を伸ばすには、急加速を抑え、一定速度を維持するようにしてください。

理想的な範囲に到達するには、以下のポイントに従ってください：

1. 急激な加速や急ブレーキは避けてください。
2. 安全な状況下では、回生ブレーキを使用して走行距離を延長できます。
3. タイヤの空気圧を適正に保ってください（10.11ページの標準タイヤ空気圧表を参照）。
4. 不要な荷物を降ろしてください。
5. 冬と夏では最大航続距離が若干異なる場合があります。

上記の要因とライダーの運転習慣に基づいて走行可能距離を推定できます。

注：オフロード走行時は様々な路面状況により、走行可能距離は大きく変動します。

はじめに 1.1

重要なお知らせ 1.1

輸送 1.2

安全に関する情報 2.1

安全な走行に関する要件 2.1

重要情報 2.2

重要ラベルの位置 2.5

機能部品の概要 3.1

ディスプレイおよびインジケーター 4.1

ダッシュボードの概要 4.1

機能設定 5.1

ダッシュボード設定 5.1

システム機能設定 5.2

機能紹介	6.1
ハンドルバーコントロール	6.1
走行モードスイッチ	6.2
バッテリーパックの取り外し	6.2
バッテリーパックの取り付け	6.4
バッテリー底部バッファ어의取り付け	6.5
充電器	6.5
始動と操作	7.1
走行前点検	7.1
キースイッチ	7.4
バッテリーコンパートメントロック	7.5
乗 車	7.5
フロントフォークの調整	7.7
リアショックの調整	7.9

電源管理	8.1
バッテリーパック	8.1
電源と充電	8.2
電力システム管理	9.1
電力システム	9.1
メンテナンス	10.1
保守項目	10.1
保守記録	10.1
定期メンテナンス	10.1
定期メンテナンス表	10.2
トルク管理	10.3
バッテリーパック	10.6
ブレーキシステム	10.7
サスペンションシステム	10.10

ホイールとタイヤ	10.11
チェーン	10.12
ライト交換	10.14
オートバイの清掃	10.14
長期保管	10.16
ライトビー純正部品	10.17
ヒューズ.....	10.17
ライトビー電気回路図	10.19
トラブルシューティング	11.1
ライトビー電動バイクのトラブルシューティング	11.1
診断ケーブルの使用方法	11.1
温度に関する注意事項	11.2
安全インターロック	11.4
ライトビー電動バイクの注意事項	11.4
故障リスト	11.7
一般的なトラブルシューティング	11.9

保証情報	12.1
保証条件	12.1
保証期間	12.1
保証対象部品	12.2
保証対象作業範囲	12.2
保証の一般的な除外事項	12.2
所有者の責任	12.4
保証の制限	12.5
保証サービスの取得方法	12.6
安全上の欠陥の報告	12.7
付録	13.1
メンテナンス記録	13.1
アフターサービス記録	13.7
パラメータリスト	13.9

はじめに

重要なお知らせ

サーロン ライトビーのご購入を心より感謝申し上げます。

サーロニストコミュニティへようこそ。

乗車前に本マニュアルをよくお読みいただき、電動バイクの特性をよく理解してご使用ください。本マニュアルは、ライトビーの操作・点検・基本メンテナンスについて理解を深めていただくために作成されています。

本マニュアルは当社公式ウェブサイトでもご覧いただけます。 <https://sur-ron.jp/manual/>よりダウンロードいただけます。更新情報は随時オンラインで公開されますので、最新版は公式ウェブサイトからダウンロードしてください。

オートバイを売却される場合は、必ず本取扱説明書を同梱してください。オートバイの操作やメンテナンスに関するご質問は、正規販売店またはSurrön輸入販売元の株式会社コハクジャパンまでお問い合わせください。

/// inquiry@sur-ron.jp ///

警告

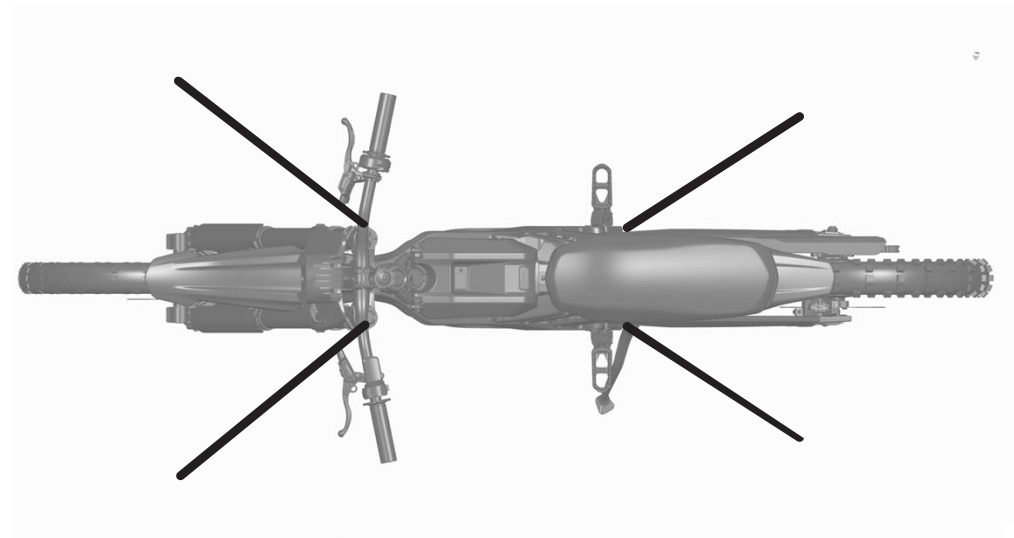
コントローラー、バッテリーパック、モーター、または充電器に不具合が生じた場合は、直ちにサーロン正規販売店に連絡し、交換または修理を受けてください。

-FETCH LIGHT-飞起来-

はじめに

輸送

輸送時には、ライトビーをタイダウンベルト等で輸送フレームにしっかりと固定することを強く推奨します。傷やその他の損傷を減らすため、タイダウンベルト固定部の養生をお勧めします。図に示すポイントに従ってタイダウンベルトを固定することを推奨します。前方の2本はハンドルバーに、後方の2本は左右のスイングアームに固定します。タイダウンベルトを固定する際は、チェーンやブレーキラインを避けてください。タイダウンベルトはバイクに対して45度の角度で固定する必要があります。使用するタイダウンベルトの取扱説明書に従ってください。



-FETCH LIGHT-飞起来-

安全情報

安全なご使用方法

Light Beelは高性能電動バイクであり、細心の注意を払って扱う必要があります。

日本の法令および規制を遵守してください。ライトビーオフロードバージョン（Xバージョン）は公道での走行が禁止されています。

適切な安全装備（地域/国家認定のヘルメット、ゴーグル、ライディングブーツ、グローブ、保護服を含む）を着用し、潜在的な負傷リスクを軽減してください。

オートバイ事故による負傷の大半が脚部・足部の衝撃によるものであるため、モトクロスブーツの使用を強く推奨します。

ライトビーを操作する前に、本マニュアルに記載されているすべての警告、指示、および安全ラベルをよくお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

ライトビーを運転する前に、電動バイクを運転するスキルを有していることを必ず確認してください。

ライトビーを運転する前に、アルコールや薬物を摂取しないでください。

ライトビーを運転する際は、ご自身の運転行動に責任を持ってください。危険で無謀な運転はしないでください。公共の安全やご自身の安全を損なうような運転はしないでください。

使用前には、必ず1ページの「乗車前点検」項目のすべてと、バッテリーインジケータに表示されるバッテリー残量を確認してください。

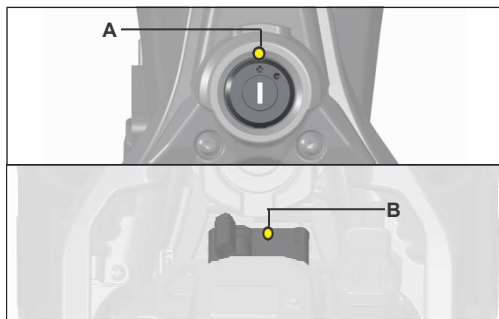
ライトビー電動バイクの良好な状態が安全の鍵です。本マニュアルに記載の定期点検表および調整要件を必ず遵守してください。乗車前に徹底的に点検すべき全項目の重要性を理解しておくことが不可欠です。

ライトビー電動バイクの改造は安全性を損ない、重大な負傷を引き起こす可能性があります。サーロン社および株式会社コハクジャパンは、いかなる無許可の改造についても責任を負いません。

ライトビーに重い物を積載したり、アクセサリを追加しないでください。大型でかさばる物品は、ライトビーの安全性と性能に悪影響を及ぼす可能性があります。

重要なお知らせ

以下の重要な操作上の注意事項：走行していない際は、必ずキースイッチAとメイン電源スイッチBをOFF位置に切り替えてください。ライトビー電動バイクは完全に無音であるため、バイクが待機状態にあることに気づきにくいです。乗降時に電源を入れたままにすると事故が発生する可能性があります。



安全情報

ライトビーのバッテリーパックは、使用後必ず充電してください。充電が完了後、直ちにAC電源から外してください。充電後は充電器と電源を必ず外してください。充電は開放された場所で行うか、監視下で行ってください。

キーがオフの位置にあり、メイン電源スイッチがオフにされている場合、ライトビー電動バイクの電子機器は電力を消費しません。

長期間（30日以上）乗らない場合は、バッテリーパックを最初に充電し、完全に充電されていることを確認する必要がある場合があります。

充電残量が少ない状態でのバッテリーパックの保管は損傷の恐れがあります。

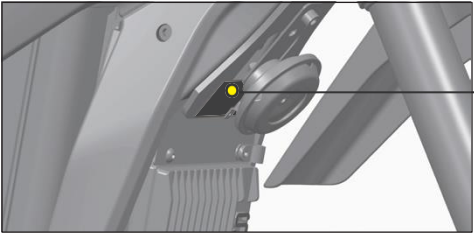
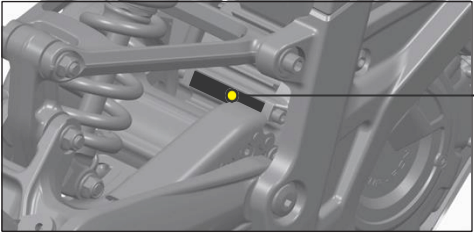
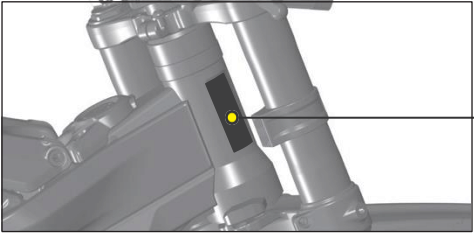
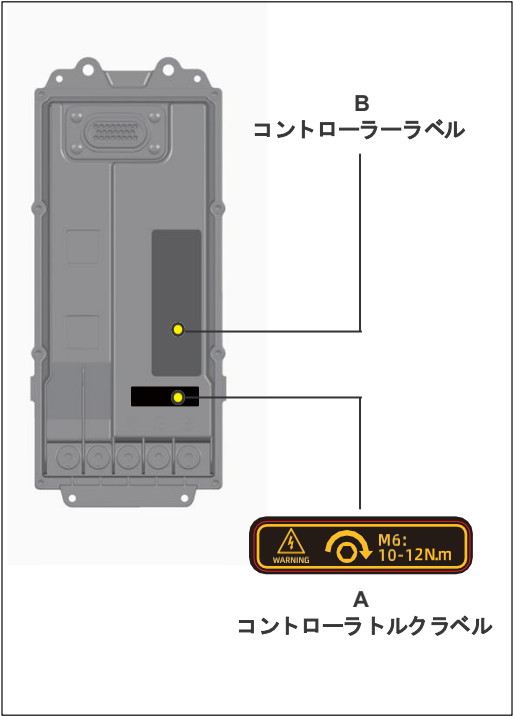
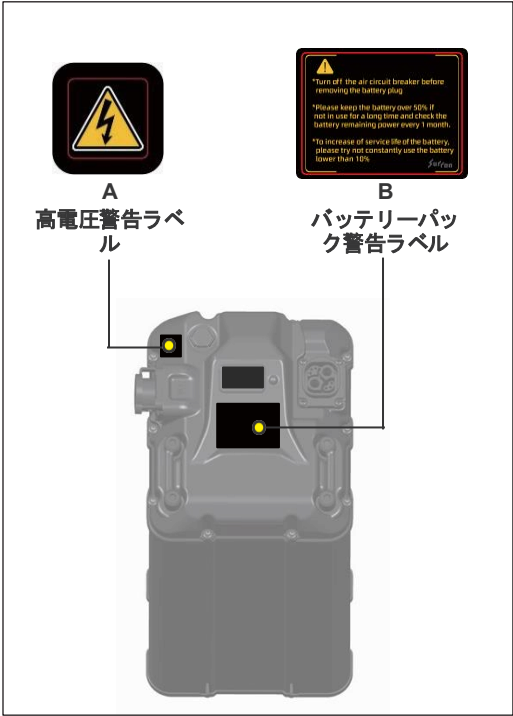
注意

Light Beeのバッテリーパックは、純正充電器でのみ充電してください。

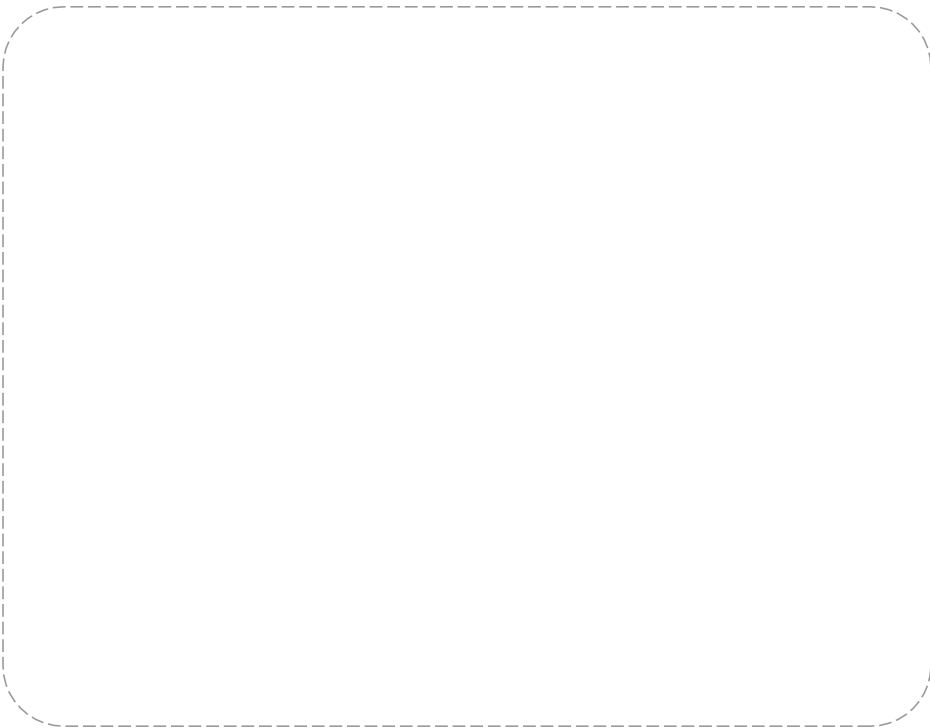
バッテリー寿命を最大限に延ばすため、各走行後はすぐにバッテリーパックを充電してください。過放電はバッテリー寿命に悪影響を及ぼします。

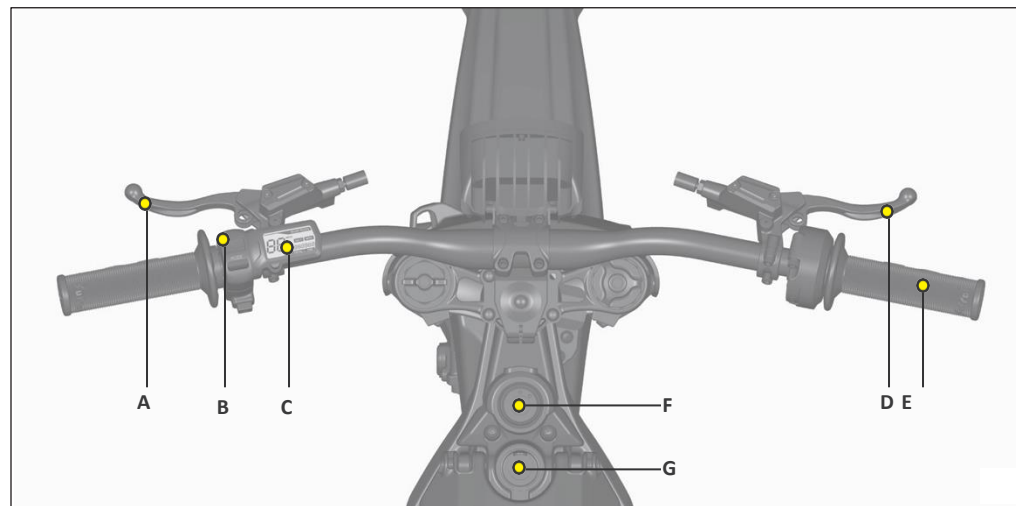
本マニュアルに記載されているバッテリーパックの保管および充電に関する指示に従わない場合、ライトビー電動バイクの保証が無効となる可能性があります。これらのガイドラインは、バッテリーパックの効率と性能を最大限に確保するため、厳格なテストを経て策定されています。

重要ラベルの位置



VINラベル



A. リアブレーキレバー

仕様と操作については、6.1ページの「機能紹介」を参照してください。

B. 左コンビネーションスイッチ

説明および操作については、6.2ページの「機能紹介」を参照してください。

C. ダッシュボード

説明および操作については、4.1ページの「表示およびインジケーター」および5.1ページの「機能設定」を参照してください。

D. フロントブレーキレバー

仕様と操作については、6.1ページの「機能紹介」を参照してください。

E. スロットルグリップ

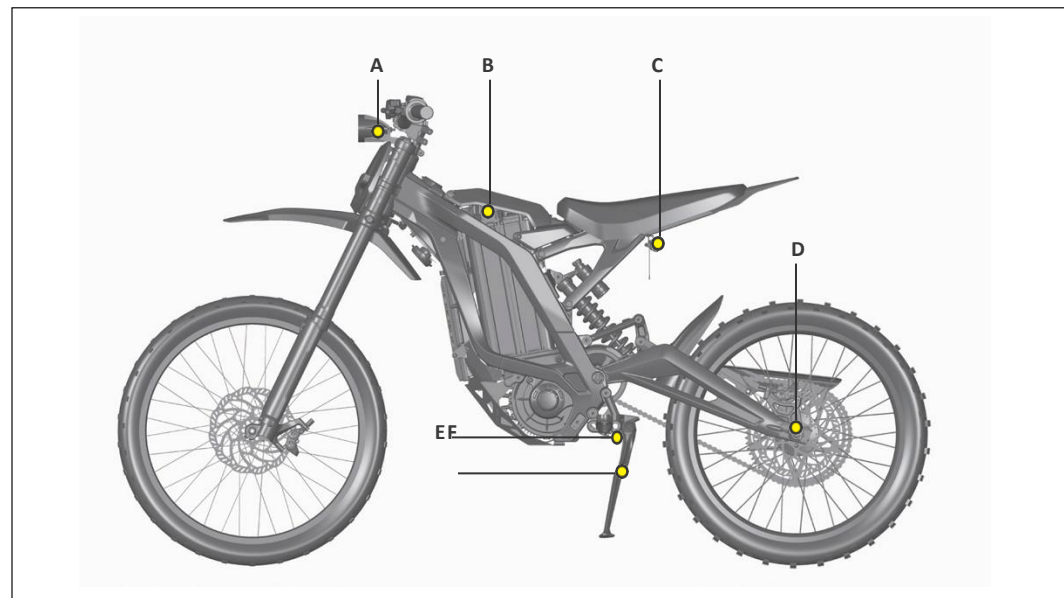
説明および操作については、6.1ページの「機能紹介」を参照してください。

F. キースイッチ

説明および操作については、7.4ページの「始動および操作」を参照してください。

G. USBポート

5V2.4A 標準USB-Aポート。

A. ヘッドライト

ヘッドライトの交換については、10.14 ページの「メンテナンス」を参照してください。

B. バッテリー充電ポート

説明と操作については、8.2ページの「電源管理」を参照してください。

C. テールライト

テールライトの交換については、10.14 ページの「メンテナンス」を参照してください。

D. チェーンアジャスター

左右両側にあります。
「メンテナンス」10.12ページを参照してください。

E. サイドスタンドスイッチ

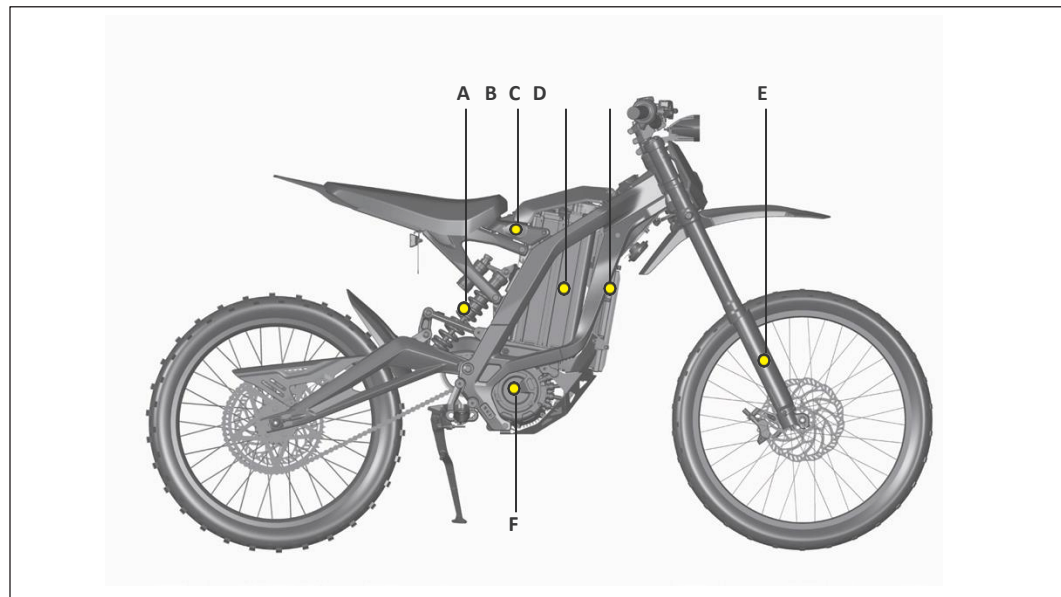
このスイッチはサイドスタンドが下がっている状態での誤作動を防ぐ安全センサーです。

F. サイドスタンド

サイドスタンドは駐車時にオートバイを支えます。駐車時はキースイッチをOFFの位置にしてください。

注意

オートバイは平らで安定した場所に駐車してください。オートバイが倒れて損傷する恐れがあります。



A. リアショックアブソーバー

説明および操作については、7.9 ページの「始動および操作」を参照してください。

B. バッテリーコンパートメントロック

説明および操作については、7.5 ページの「始動および操作」を参照してください。

C. バッテリーパック

説明と操作については、8.1 ページの「電源管理」を参照してください。

D. コントローラ

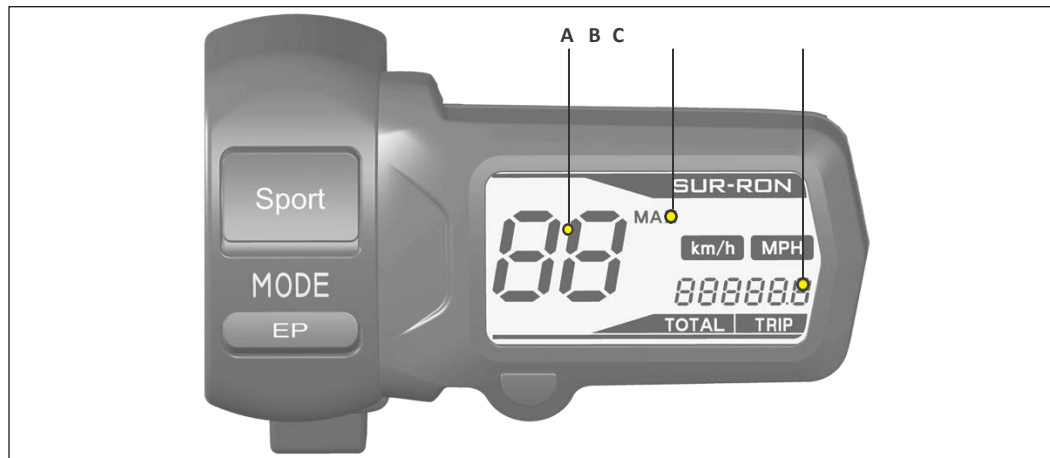
詳細および操作については、9.1 ページの「電源システム管理」を参照してください。

E. フロントフォーク

説明および操作については、7.7 ページの「始動および操作」を参照してください。

F. モーター

説明および操作については、9.1 ページの「電力システム管理」を参照してください。



ダッシュボード概要

A. スピードメーター

速度計は、キロメートル毎時（km/h）またはマイル毎時（mph）で表示されるデジタル表示です。説明と操作については、5.1ページの「機能設定」を参照してください。

B. 最高速度

「MAX」が表示されている場合、速度計の値は前回の走行における最高速度です。

C. 走行距離計

走行距離計は、走行距離または総走行距離を表示します。説明と操作については、5.1ページの「機能設定」を参照してください。

機能設定

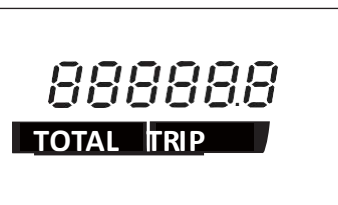
機能設定

5.1

ダッシュボード設定

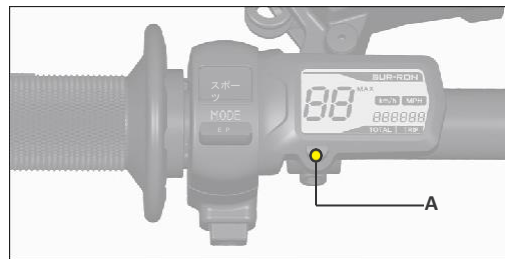
ダッシュボードに表示される情報は、長押しまたは短押しで設定できます。

走行距離
計表示



総走行距離とトリップ走行距離の切り替え:

ダッシュボードの電源が入っており、速度がゼロの状態、Aボタンを短押しすると、総走行距離 (TOTAL) とトリップ走行距離 (TRIP) を切り替えられます。



最高速度と走行距離のリセット:

ダッシュボードの電源が入っており、速度がゼロの状態、走行距離モードに切り替えてAボタンを2秒以上長押しすると、最高速度と走行距離がリセットされます。

速度
表示ユニット



マイル毎時 (mph) とキロメートル毎時 (km/h) の切り替え:

- ダッシュボードの電源がオフの状態、Aボタンを押し続け、その後ダッシュボードの電源を入れ、Aボタンを2秒以上押し続けると切り替えられます。
- MPH マイル単位を選択時に表示される時間 (MPH)。
- km/h を選択すると、(km/h) と表示されます。

システム機能設定

システム機能インジケータ

診断ケーブルのインジケータ (手順については11.1 ページを参照) が、システム機能が正常に設定されたことを示しています。

システム機能モードの設定

工場出荷時のデフォルト設定では、回生ブレーキは中レベルに設定され、ブレーキカットオフは無効になっています。

バイクの電源投入後、スタンバイ状態でサイドスタンドが下がっている場合、システム機能モードは20秒以内が設定可能状態となります。

システム機能モード設定状態では、フロントノリアブレーキレバーを短く引く (約0.5秒) と長く引く (約2秒) の組み合わせで異なる機能を設定できます。設定完了後、インジケータの点滅回数が新たに設定された機能モードを示します。例えば、診断ケーブルインジケータが4回点滅した場合、回生ブレーキがハイレベルに設定されていることを示します。

制限時間を超過すると、システム機能モード設定状態から自動的に終了し、電源を再投入後に再度設定可能となります。

5.2

機能設定

設定可能な具体的な機能は（ブレーキレバーの引き方の組み合わせにより）：

① 回生ブレーキを低程度にする。

ブレーキ操作：短2回＋長1回

インジケータ：2回点滅。

② 回生ブレーキを中程度にする。

ブレーキ操作：短3回＋長1回

インジケータ：3回点滅

③ 回生ブレーキを高程度にする。

ブレーキ操作：短4回＋長1回

インジケータ：4回点滅

④ 回生ブレーキをオフにする。

ブレーキ操作：短7回＋長1回

インジケータ：7回点滅

⑤ サイドスタンドスイッチと転倒センサーをオフにする。

ブレーキ操作：短6回＋長1回（車両再始動時に自動復帰）

インジケータ：6回点滅

⑥ ブレーキカットオフをオフにする。

ブレーキ操作：短8回＋長1回

インジケータ：8回点滅する

⑦ ブレーキカットオフをオンにする。

ブレーキ操作：短9回＋長1回

インジケータ：9回点滅

⑧ スロットル感度設定機能。

工場出荷時はノーマルモードです。

プロモード

ブレーキ操作：短5回＋長1回

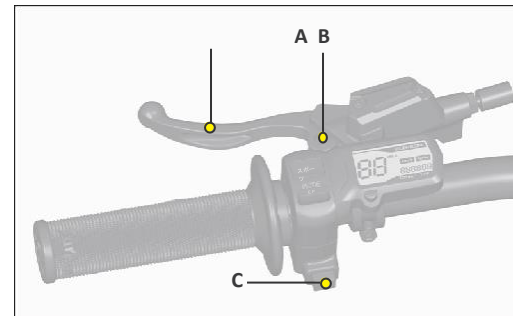
インジケータ：12回点滅

ノーマルモード：短5回＋長1回

インジケータ：11回点滅

この操作を繰り返すことで、ノーマルモードとプロモードを切り替えられます。

ハンドルバーコントロール

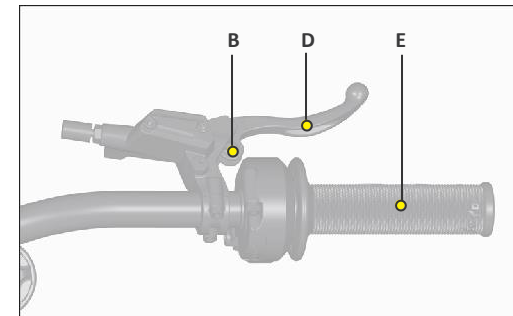


A. リアブレーキレバー

レバーを後ろに引くと、リアブレーキシステムを操作します。

B. ブレーキレバー調整ネジ

この調整ネジは、ブレーキレバーとハンドルバー間の間隔を調整するために使用します。ブレーキレバーの位置は、2mm六角レンチを使用して調整し、個人により適した位置に設定します。



C. ホーンボタン

メイン電源スイッチとキースwitchがONの位置にある場合、ホーンボタンを押すとホーンが鳴ります。ライトビー電動バイクは走行時に非常に静かであり、歩行者や他の運転者に注意を促すために使用できます。

D. フロントブレーキレバー

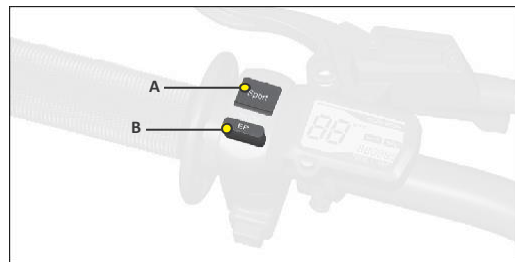
レバーを後方へ引くと、フロントブレーキシステムを操作します。

E. スロットル

スロットルは速度制御に使用されます。

機能紹介

ライディングモードスイッチ

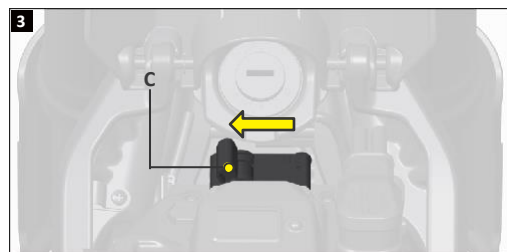
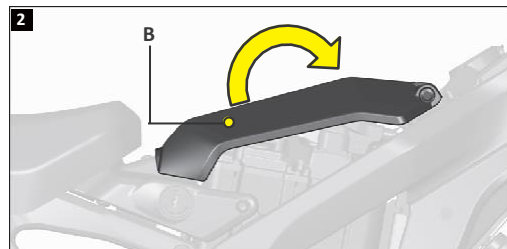
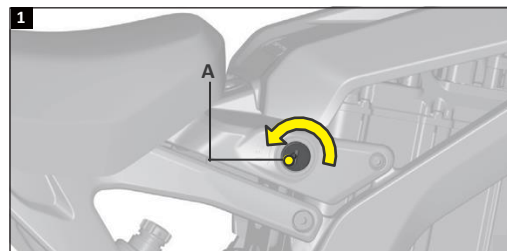


6.2

A スポーツモード：スポーツモードでは、モーターサイクルは爆発的な加速力を発揮し、オフロードトラックやトレイルなどの未舗装路に適しています。本モードはバイクに慣れた後に使用することを推奨します。

B. EPモード：EPモード時は、出力と加速が緩やかになります。バイクの操作に慣れていないユーザーに適しています。

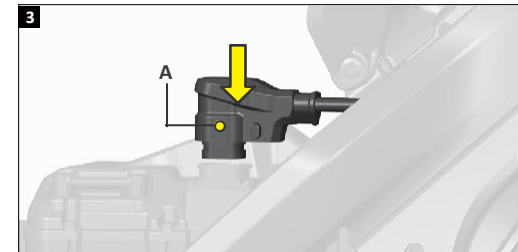
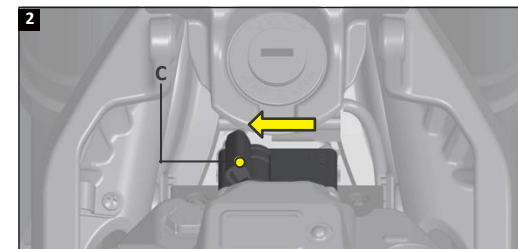
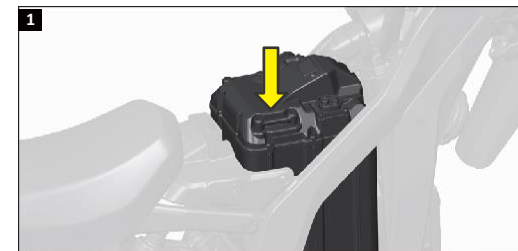
バッテリーパックの取り外し



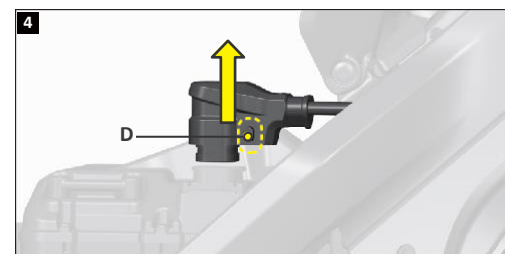
-FETCH LIGHT-飛起来-

機能紹介

バッテリーパックの取り付け



6.3



1 キーをバッテリーコンパートメントロックAに挿入し、反時計回りに回してロックを解除します。

2. バッテリーコンパートメントカバーBを開ける

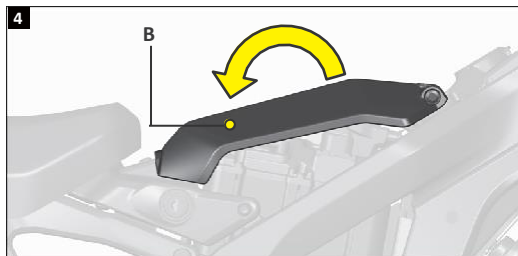
3. メイン電源スイッチCをオフにします。

4 ボタンDを押したまま、矢印の方向に放電プラグを取り外します。

5. バッテリーパックを矢印の方向（上方向）に外します。

-FETCH LIGHT-飛起来-

機能紹介



6.4

1. バッテリーパックをバッテリーコンパートメントに設置してください。
2. メイン電源スイッチCがOFF位置にあることを確認してください。
3. 放電プラグAをバッテリーソケットに接続してください。
4. バッテリーコンパートメントカバーBを押してロックします。

警告

取り外しおよび取り付けの前にライトビーのバッテリーパックを取り外す際は、キースイッチとメイン電源スイッチをOFF位置に設定してください。

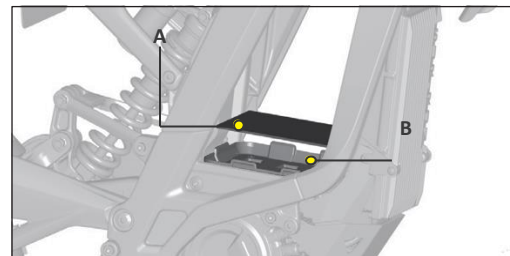
バッテリーパックの取り外しおよび取り付け時には、放電プラグをバッテリーコンパートメントの左側外側に配置してください。

機能紹介

バッテリーボトムバッファAの取り付け

バッテリーパックを取り外します。説明と操作については、6.2ページの「バッテリーパックの取り外し」を参照してください。

バッテリーボトムバッファAの保護フィルムをはがし、バッテリー底面位置決めブロックBに貼り付けます。



注意

バッテリーパックが明らかに緩んでいる場合
バッテリーコンパートメント内では、異常な
ノイズの継続やオートバイの損傷を防ぐため
、バッファを追加することを推奨します。

充電器

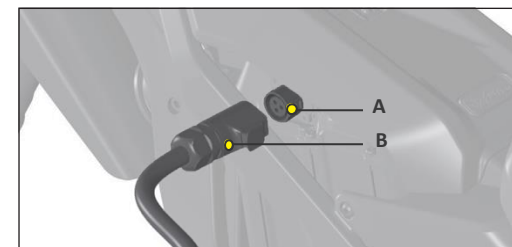
1. 充電ポートの方向：充電ポートBは誤操作防止機能を備えており、その隙間はバッテリー充電ポートAとの接続に対応しています。

2. 充電操作手順:

① 充電器出力プラグをバッテリーソケットに接続する

② 充電器入力プラグを電源コンセントに接続；

③ 主電源投入後、充電器は自己診断状態に入ります。自己診断に合格すると、通常の充電状態に移行します。



6.5

走行前点検////////

ライトビー電動バイクを操作する前に、以下の項目を確認し、バイクが正常な作動状態にあることを確認してください。

ハンドル操作

ハンドルバー、アヘッドステム、ヘッドセットの締め付け状態を確認してください。必要に応じて調整してください。詳細は10.3ページの「トルク管理」を参照してください。

バッテリーパック

バッテリーパックに表示されるバッテリー残量が、走行をサポートするのに十分であることを確認してください。走行距離は実際の使用環境によって異なるため、表示されるバッテリー残量はあくまで目安です。

チェーン

チェーンの張り状態を確認してください。必要に応じて調整または交換してください。詳細は10.12ページの「チェーン」を参照してください。

ブレーキシステム

ブレーキレバーを引いてバイクを押しながら、前輪と後輪が完全にロックできるか確認してください。ブレーキ操作により車輪を完全にロックする必要があります。

スロットル

キースイッチがOFFの位置にあるとき、スロットルを捻って離し、スロットルがスムーズに回転し、自由にアイドル位置に戻るかどうかを確認する。

タイヤ

タイヤの空気圧と溝の深さを確認してください。

冷間時のタイヤ空気圧を確認し、適正な空気圧を維持してください。タイヤの損傷や異常摩耗がないか点検してください。10.11ページに記載の通り、トレッドの深さがタイヤの警告マークに達した場合は、直ちにタイヤを交換してください。

警告

不適切なタイヤ空気圧は、タイヤ故障の一般的な原因であり

タイヤ故障を引き起こす原因であり、深刻なタイヤ破裂、トレッド剥離、電動バイクの制御不能を招き、重大な人身事故につながる可能性があります。タイヤを定期的に点検し、適切な状態を保ってください。

起動と操作

電気系統

ヘッドライトとテールライトが正常に作動するか確認してください。

サイドスタンドスイッチとチルトスイッチが正常に作動するか確認してください。

。



7.3

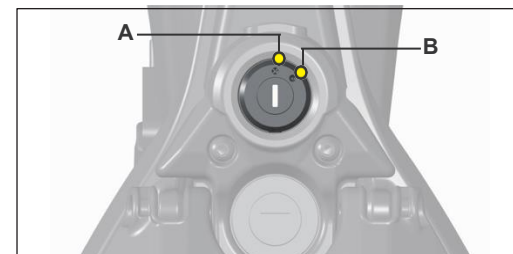
起動と操作

キースイッチ

USB充電ポートホルダーに設置された2ポジションスイッチです。機能は以下の通りです：

OFF A

ON B



OFF 位置

この位置は、ライトビー電動バイクの電源をオフにし、すべての電気システムを停止します。この位置ではキーを取り外すこともできます。

ON 位置

この位置はライトビー電動バイクの電源を入れるためのものです。この位置に切り替えると以下の変化が生じます：

ダッシュボード点灯。

ヘッドライト点灯。

テールライト点灯。

キースイッチの操作方法：

1. キーをキースイッチに挿入し、時計回りに回してキーをOFF位置からON位置に切り替えると、ライトビー電動バイクの電源が入ります。
2. ライトビー電動バイクの電源を入れた後、キーを反時計回りに回してON位置からOFF位置に切り替えると、ライトビー電動バイクの電源が切れます。キースイッチを切った後は直ちにキーを取り外し、盗難防止のため安全な場所に駐車してください。

7.4

始動と運転

バッテリーコンパートメントロック

これはフレーム本体の右側に位置する二位置自動復帰スイッチです。機能は以下の通りです：

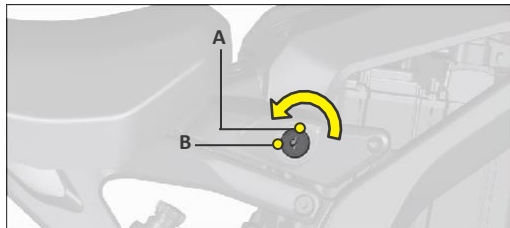
1 ロックA

2. ロック解除B

バッテリーコンパートメントロックの操作方法：

1. ロック位置にある場合、キーを電池コンパートメントロックに挿入し、反時計回りに回してキーをロック位置からアンロック位置に切り替えます。キーがアンロック位置にあると、電池コンパートメントカバーを開けることができます。

2. キーを離すと、キーは自動的に解除位置からロック位置に戻り、ロック位置でキーを抜くことができます。



-FETCH LIGHT-飞起来-

アイドリング

始動

1. キースイッチをONの位置に回してください。
2. バッテリーに表示されている残量が十分であることを確認してください。
3. 周囲に障害物や通行車両がないことを確認した後、サイドスタンドを格納し、スロットルを回して速度を上げ、走行を開始する。

ブレーキ操作

ブレーキレバーはハンドルバーの左右に配置されています。

右のブレーキレバーはフロントブレーキを操作

します。左のブレーキレバーはリアブレーキを

操作します。

始動と操作

警告

ブレーキ力を徐々に増加させることが可能
ライトビーは、車輪をロックさせずに優しく停止させてください。ライトビーは強力な車両です、十分な練習を行い、安全な緊急停止操作をすべて習得することを強く推奨します。

注意

各走行後、残量を必ず確認してください。
バッテリー残量を確認し、バッテリーパックを適時に充電してください。

駐車

1. スロットルがアイドリング位置にあることを確認してください。
2. 車両が転倒した場合に備え、サイドスタンドを下ろしてください。
3. キースイッチをOFFの位置に回し、キーを取り外し、安全な場所に保管してください。

-FETCH LIGHT-飞起来-

起動と操作

フロントフォーク調整

注意

減衰調整を限界まで調整する際は最大値より一
つ戻すようにしてください。

プリロード

左フロントフォーク上部のノブAを回してプリロード
を調整します。「+」記号はプリロードを増やすこと
を示し、「-」記号はプリロードを減らすことを示し
ます。

プリロードを増やすには、調整ノブAを「+」方向へ時
計回りに回します。
方向にノブAを時計回りに回すとプリロードが増加し
ます。

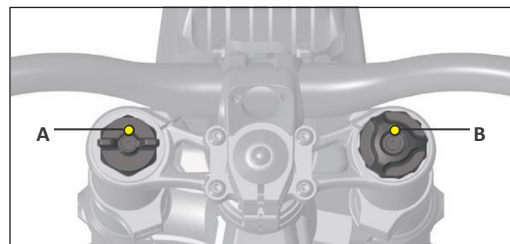
調整ノブAを「-」方向（反時計回り）に回すと、プリ
ロードが減少します。

リバウンド減衰

右フロントフォーク上部のノブBを回してリバウンド
減衰力を調整します。「+」記号はリバウンド減衰力
を増加させ、「-」記号はリバウンド減衰力を減少さ
せます。

調整ノブBを時計回りに「+」方向に回すと、リバウ
ンド減衰が増加し、リバウンド速度が遅くなります。

調整ノブBを反時計回りの「-」方向に回すと、リバ
ウンド減衰力が弱まり、リバウンド速度が速くなり
ます。



注意

プリロードとリバウンド減衰は道路状況やライ
ダーの体重に応じて適切に調整してください。
ダンピングを最大値まで調整することは避けて
ください。フロントフォークの故障や重大な怪
我の原因となる可能性があります。

注意

フロントフォークの外観はブランドによって異
なる場合がありますので、実際の製品をご確認く
ださい。

起動と操作

注意

空気圧を定期的に確認・調整してください。

推奨値：80-100 PSI。

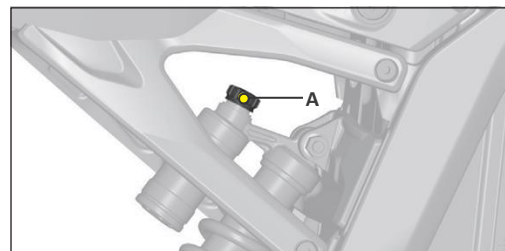


始動と運転

リアショックの調整

注意

ノブを調整する際は、最大値に達した後に1スペース分戻すようにしてください。



圧縮減衰

リアショックの右上にあるノブAを回して圧縮減衰力を調整します。「+」記号は圧縮減衰力を増加させ、「-」記号は圧縮減衰力を減少させます。

圧縮減衰力を上げるには、調整ノブAを「+」方向へ時計回りに回します。

方向にノブAを時計回りに回すと、圧縮減衰が増加し調整ノブAを「-」方向に反時計回りに回すと、圧縮減衰力が減少します。

注記

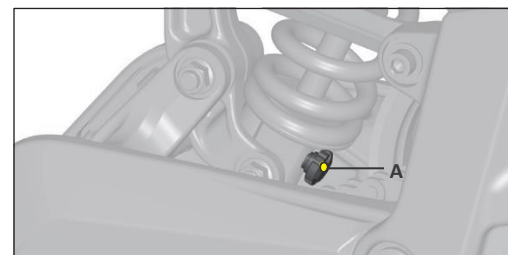
リアショックの外観はブランドによって異なる場合がありますので、実際の製品をご確認ください。

リバウンド減衰

リアショックの右下にあるノブAを回して、リバウンド減衰力を調整します。「+」記号はリバウンド減衰力を増加させ、「-」記号はリバウンド減衰力を減少させます。

調整ノブAを時計回りに「+」方向に回すと、リバウンド減衰が増加し、リバウンド速度が遅くなります。

調整ノブAを反時計回りの「-」方向に回すと、リバウンド減衰力が弱まり、リバウンド速度が速くなります。



始動と操作

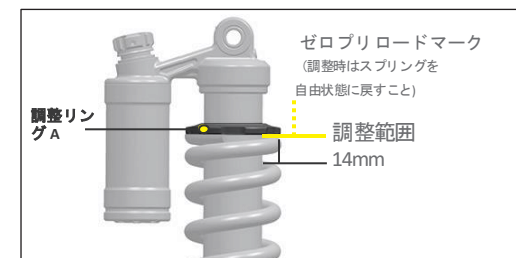
注意

リアショックの外観はブランドによって異なる場合がありますので、実際の製品をご確認ください。

プリロード

調整レンチで調整リングAを回します。

調整リングAを反時計回りに回すとスプリングプリロードが減少し、調整リングAを時計回りに回すとスプリングプリロードが増加します。



7.9

7.10

注意

プリロードの調整は推奨されません
14mmを超える場合。過度のプリロードはリア
ショックの有効ストロークに影響します。減衰
力とプリロードは、路面状況やライダーの体重
に応じて適切に調整してください。減衰力を最
大値まで調整することは避けてください。リア
ショックの故障や重大な負傷を引き起こす可能
性があります。

注記

リアショックの外観はブランドによって異なる
場合がありますので、実際の製品をご確認くだ
さい。

バッテリーパック

ライトビー電動バイクは高性能・高定格のリチウムイ
オンバッテリーを採用しており、使用可能環境温度範
囲は-15〜40°C（5〜104°F）です。最適な動作条件は周囲
温度10〜30°C（50〜86°F）です。極端な低温または高温
の環境温度は、バッテリーパックの性能と寿命に影
響を与えます。許容範囲を超える温度でのバッテリ
ーパックの使用は避け、0°C（32°F）未満での充電は行
わないでください。

バッテリーパックの充電時間は、周囲温度25°C（77°F
）で約3時間です。

周囲温度が低すぎると、バッテリーパックの性能に
影響が出ます。走行距離が若干減少するのは正常な
現象であり、温度が動作条件まで回復するとバッテリ
ーパックの性能は自動的に回復します。

長期間使用しない場合は、バッテリー残量を40%〜50%
に充電し、毎月残量を確認してください。バッテリー
パックを充電してください。

バッテリー残量が20%を下回った場合、バッテリーパ
ックの過放電を防止し、性能への影響や損傷を防ぐ
ため。

バッテリーパックを高圧水銃で洗浄したり、水に浸
漬したりすることは厳禁です。バイク全体の浸水深
は車輪の中心を超えないようにしてください。バッ
テリーパックへの浸水、内部短絡、およびバッテリー
パックの永久的な故障を引き起こす可能性があります。

バッテリーパックに水が浸入した場合、またはその他
の問題が生じた場合は、バッテリーパックの充電や
使用を厳禁します。バッテリーパックの発火、焼損、
爆発を引き起こす恐れがあります。

バッテリーパックは防水構造で、内部に高電圧回路
が密封されています。外装の損傷は防水性能を低下さ
せます。防水構造が損傷した場合は、アフターサービ
スまでご連絡ください。潜在的な損傷や重大な危険を
避けるため、ユーザーによるバッテリーパックの分解
は厳禁です。

電源管理

電源供給と充電

充電前に、グリッド電圧が充電器がサポートする入力電圧範囲内にあるかどうかを確認してください。

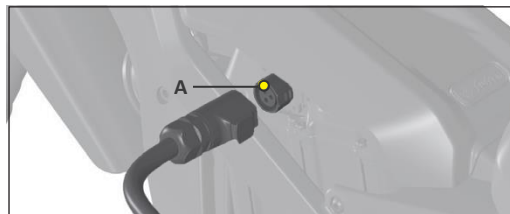
米国および日本向け：100～120VAC、45～65Hz

充電前に、AC電源ネットワークのコンセント負荷電力が充電器の電力要件を満たしているか確認してください（1000W以上を推奨）

充電時は、まず充電器の出力プラグをバッテリーパックに接続し、その後充電器の入力プラグをAC電源に接続してください。

充電時は、充電器の出力プラグをオートバイ左側にあるバッテリー充電ポートAに接続してください。

バッテリーパックが完全に充電されると、充電器は自動的に電源が切れます。充電器の電源とバッテリーに接続された充電プラグを必ず外してください。



充電時の注意事項
充電時は、オートバイ／バッテリーパックを安全な場所に置き、子供の手の届かない場所に置いてください。
充電直後のバッテリーパックの使用は避けてください。充電完了後は、使用前に充電器を外してください。使用前に10分以上放置することを推奨します。
充電中は充電器上のいかなる物も覆わないでください。充電器は屋内専用です。乾燥した換気の良い環境でご使用ください。
充電完了後はバッテリーパックの充電ポートキャップを必ずお付けください。

電源管理

バッテリー内部の温度が55°C（131°F）を超えると充電できません。自然冷却により温度が低下すると充電が開始されます。

激しい走行後はバッテリーパックが急速に放電し発熱します。周囲温度が低くても、バッテリーパック内部温度は高い可能性があります。

バッテリーパックの温度低下は自然放置によるもののみとなります。
バッテリーパックを放置して、常温に戻してください。他の方法でバッテリーパックの温度を急激に上げたり下げたりしないでください。高出力動作や高温動作直後は、バッテリーパックをすぐに充電できない場合があります。バッテリーパックが30分以上冷却された後に充電を開始してください。バッテリー管理ポリシーにより、内部温度が高すぎる場合、バッテリー寿命を保護するため充電は許可されません。

警告

バッテリーパックは常に換気の良い環境で充電し、可燃物から離して保管してください。雨天時の充電は避けてください。

バッテリーパックは専用充電器でのみ充電可能です。
純正充電器またはメーカー指定の専用充電器を使用してください。非純正の充電器やアクセサリの使用は、バッテリーパックの損傷、故障、さらには危険を引き起こす可能性があります。

警告

バッテリーパックは0°C（32°F）以下で充電しないでください。バッテリーパックの損傷の可能性があります。バッテリーパックの温度が0°C（32°F）以上に戻った後、再度充電できます。バッテリーパック内部の最大許容充電温度は60°C（140°F）です。

重大な警告

以下の状況に該当する場合、充電を直ちに中止し、電源をすぐに切断してください。電動バイクは使用せず、Surrónのアフターサービスに連絡するか、できるだけ早く整備拠点へお持ちください

- ・バッテリーパックの筐体が損傷している場合
- ・充電中に異臭がする場合
- ・バッテリーパックまたは充電器が過熱した場合
- ・バッテリーパックから煙または火災が発生した場合。

万一、こうした症状が発生した場合は、さらなる被害を防ぐため直ちにバッテリーパックを水に浸してください。

注意

2025年モデルLight Beeバッテリーパックの低消費電力保護機能の継続的な最適化により、バッテリーパックが6回充電された場合、または車両の回路ブレーカーがOFF位置にある場合、バッテリーパックは休眠保護状態を維持することがあります。充電を開始するには、バッテリーLCD画面横にあるボタンを押してバッテリーパックを起動する必要があります。

電力システム

ライトビー電動バイクの動力システムは主にモーターとコントローラーで構成されています。

警告

ユーザーによるモーターの無断分解は厳禁です。

モーターを分解しないでください。分解した場合、位置センサーの誤作動や対応するシールの損傷を引き起こし、モーター故障の原因となる可能性があります、いかなる場合でも保証の対象外となります。

コントローラー及びそのケーブルを分解することは固く禁じます。感電や火傷などの重大な結果を招く恐れがあります。コントローラーは高電圧精密電子部品であり、ケーブルは高電流を流します。誤った配線接続やネジのトルク不足は、コントローラーや電源システムに損傷を与える可能性があります。

警告

Light Beeの動力システムは、Surrónが認定した訓練を受けた専門技術者による修理または交換が必要です。ユーザーによる動力システムの分解や改造は禁止されています。動力システムを水に浸すことは禁止されており、そうした場合、損傷を引き起こします。

電力ケーブルは運転中に高電流が流れるため、ケーブルが正しく確実に接続されていることを確認し、ケーブル固定ボルトのトルクと締付け状態が要求を満たしていることを確認し、ケーブル絶縁も要求を満たしていることを確認してください。電力システムの構成部品やケーブルの分解は厳禁です。

警告

本電源システムは60Vの高電圧システムです。
オートバイの運転中、修理中、および保守中は
オートバイと電源ケーブルが十分に絶縁されて
いることを確認してください。

メンテナンス

メンテナンス項目

以下の表は、ブレーキフルードの交換時期を示しています。

交換するブレーキフルードを示します。

部品	タイプ	容量
ブレーキフルード	DOT4	

メンテナンス記録

10.2ページの定期メンテナンス表に従ってください。
各定期点検またはメンテナンス実施後、本マニュアルのメンテナンス記録に必要事項をすべて記録してください。

定期点検

ライトビーは、安全かつ信頼性の高い性能を確保するため、定められたスケジュールに従ってメンテナンスを行う必要があります。必要なメンテナンススケジュールでは、電動バイクの点検整備の頻度と、注意が必要な項目が明記されています。作業の実施に不安がある場合や支援が必要な場合は、お近くのサーロン正規販売店にご連絡の上、バイクのメンテナンスをご依頼ください。保証は無効となります。

電気モーターサイクルの不適切なメンテナンスまたは修理によって損傷、故障、または性能上の問題が生じた場合。

本定期整備表のサービス間隔は未舗装路面での走行条件に基づいています。湿潤または粉塵の多い地域での走行が頻繁な場合、一部の項目はより頻繁な整備が必要となります。個々のニーズや使用状況に応じた推奨事項については、最寄りの販売店にご相談ください。走行距離に関わらず、ライトビー電動バイクは少なくとも6ヶ月に1回の整備を行うことを推奨します。

注意

すべてのネジとボルトの締め付けトルクをトルクを確認することをお勧めします。

メンテナンス

定期メンテナンス表

ライトビー電動バイクを最適な作動状態に保つため、本表に従い定期的なメンテナンスを実施してください。初期メンテナンスは極めて重要であり、決して怠ってはなりません。時間と走行距離の両方が記載されている場合は、最初に表示される間隔に従ってください。

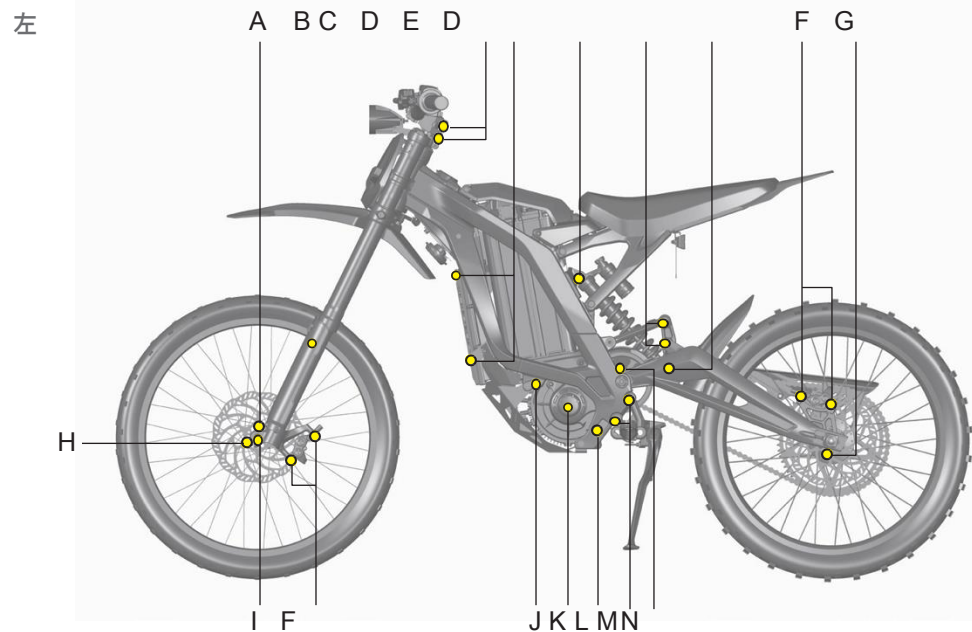
ライトビー電動バイク定期メンテナンス表							
点検項目	毎回の走行後	100km	500km	2000km	5000km	10000km/12ヶ月	20000km/24ヶ月
タイヤ（摩耗）	●↘						↻
ブレーキパッド摩耗		●	●	●	●/↻	●/↻	↻
ブレーキディスク摩耗			●	●	●/↻	●/↻	↻
チェーン		●/↘	●/↘	●/↘	●/↻		↻
スプロケット（フロント&リア）				●	●/↻		↻
プライマリベルト&プライマリドライブプーリー				●/↘			↻
バッテリーバック容量	●						
フロントフォーク&リアショック	●					↘	↘
ブレーキフルード		●		●	●	↻	↻
ベアリング				●	●		
ライト	●	↘					
ホイールスポーク	●				↘	↘	↘
スイングアーム保護ブロック				●	●	●/↻	●/↻
ティルトスイッチ				●	●	●	●
サイドスタンドスイッチ	●			●/↘	●/↘	●/↘	●/↘
ネジトルク							

● 点検 ↻ 交換 ↘ 点検

メンテナンス

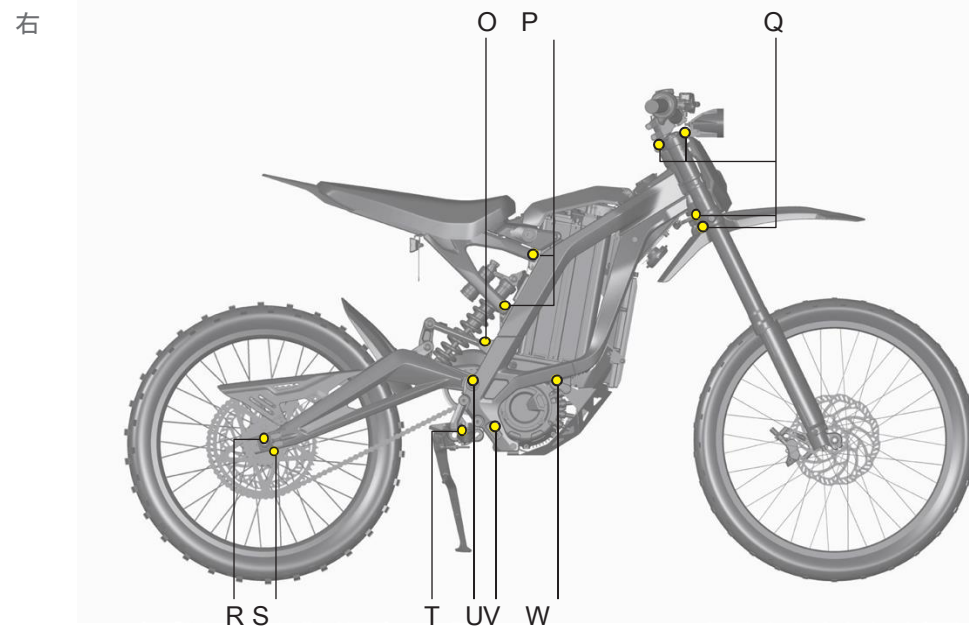
トルク管理

ライトビー電動バイクの以下の締結部品を定期的に点検し、指定トルクで締め付けてください。



10.3

メンテナンス



10.4

メンテナンス

メンテナンス

	項目	トルク	仕様	注記
A	フロントディスク	トルクス皿 頭ネジ M5*10	トルクス皿頭ネジ M5*10	/
B	ハンドルバー アヘッドステム	5-6N.m	六角穴付きボルト M6*20	/
C	コンローラー取付ネジ	8-10N.m	六角穴付きボルト M6*16	/
D	リアショック上部&下部取付ネジ	20-25N.m	六角穴付き半ねじ L50-M8	/
E	リアショックリンケージアームア クスルフロント&リアブレーキキ ャリパー取付ネジ	20-25N・ m	六角穴付きボルト (半ねじ) L50-M8	/
F	フロント&リアブレーキキャリパー取付ネジ	12N.m	六角穴付きボルト M6*18	/
G	リアブレーキディスク取付ボルト	トルク 10- 12N.m	トルクス皿頭ネジ M6*13	ネジロック剤が必要、KAFUTERK-06 09 または同等品
H	フロントアクスルピンチボルト	12N.m	六角穴付き	/
I	フロントホイールアクスル	20-25N・ m	T字ボルト	/
J	モーター左上取付ボルト	20-25N.m	六角穴付きボルト M8-*40	/
K	プライマリブリー 固定ボルト	40-50N.m	フランジ付き六角ナット M12*1.25	/
L	モーター左下取付ボルト	20-25N.m	六角穴付きボルト M8*45	/
M	左右フットペグ取付ネジ	25-30N.m	六角穴付きボルト M8*25	/
N	プライマリドライブ 後部ブリー 取付ネジ	10-12N.m	六角穴付きボルト M6*16	/
O	連結取付ネジ	20-25N・ m	六角穴付きボルト M8*35	/
P	サブフレーム	15-20N.m	六角穴付きボルト M8*20	/
Q	ステアリングステム上部&下部接続プレート	8-10N.m	六角穴付き	/
R	後輪車軸	55-60N・ m	T字シャフトボルト M12*1.25*198	/
S	リアスプロケット取付ネジ	20-25N.m	六角穴付きボルト M8*16	/
T	フットペグ左右取付ボルト	40-45N.m	フランジ付き六角ナット M10*1.25	ネジロック剤が必要、KAFUTERK-06 09 または同等品
U	スイングアームピボットシャフト	30-35N.m	M10*1.0	/
V	モーター右下取付ボルト	20-25N・ m	六角穴付きボルト M8*25	/
W	モーター右上取り付けボルト	20-25N・ m	六角穴付きボルト M8*25	/

バッテリーパック

注意

1. バッテリーはリチウムイオンバッテリーシス
テムです。メンテナンスは不要ですが、定期的
に充電が必要です。長期間使用しない場合は、
保管前にバッテリーパックの充電量を約40%～
50%に保ってください。毎月残量を確認する必
要があります。バッテリーパックの充電量が
20%を下回った場合は、過放電による性能低下
や損傷を 防 ぐ ため、再充電を行ってくださ
い。
2. バッテリーパックは低温・高温環境を避けて
保管してください。直射日光の当たる場所での
保管は避けてください。長期間使用しない場合
は、周囲温度10℃～30℃(50°F～86°F)の環境で保
管してください。

注意

3. 二輪車整備の修理または分解の資格を有する
Surren正規販売店にて修理・メンテナンスを行
ってください
4. バッテリーパックの廃棄は、日本の法律に従
ってください。使用済みのバッテリーパックは
、サーロン・ジャパン（株式会社コハクジャパ
ン）までご連絡のほどよろしくお願いいたしま
す。

メンテナンス

ブレーキシステム

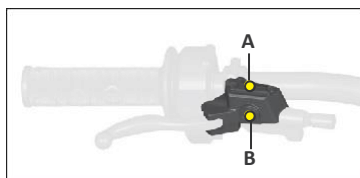
このセクションでは、ライトビー電動バイクのブレーキシステムのメンテナンス方法について説明します。ブレーキパッド（フロントとリアのブレーキパッドは共通です）の交換方法、およびフロントとリアのブレーキシステムにおける推奨ブレーキフルードの種類と液面レベルについて記載しています。

ブレーキシステムのエア抜き

ユーザーはブレーキシステムからエア抜きを行う必要がありますが、これは指定の正規販売店でのみ実施可能です。

ブレーキフルードレベルチェック

ブレーキフルードリザーバタンク



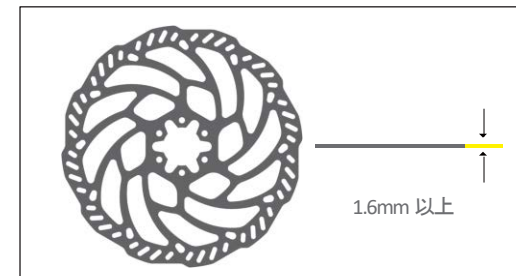
ブレーキフルードの液面は点検窓Bから確認できます。液面が点検窓Bの1/3より低い場合は、ブレーキフルードを補充してください。ブレーキフルードリザーバーを開ける前に、リザーバーキャップAのほこりや汚れをすべて拭き取り、ブレーキフルードの汚染を防いでください。

ブレーキフルードの液面が低い場合は、ブレーキパッドの摩耗または油圧システムの漏れを示している可能性があります。ブレーキパッドの摩耗状態と油圧システムの漏れを確認してください。新しい鉱物系ブレーキフルードは密封容器に入ったもののみを使用してください。ブレーキフルードの補充手順は以下の通りです：

1. ブレーキフルードリザーバーのキャップにある2本のネジを緩め、ブレーキフルードリザーバーのキャップとリザーバーガasketを取り外します。
2. 新しい鉱物油ブレーキフルードを補充します。
3. キャップのシールを確認し、摩耗や損傷がなく、位置が正しいことを確認してください。
4. リザーバーキャップのネジを取り付け（トルク：2.5N・m）。

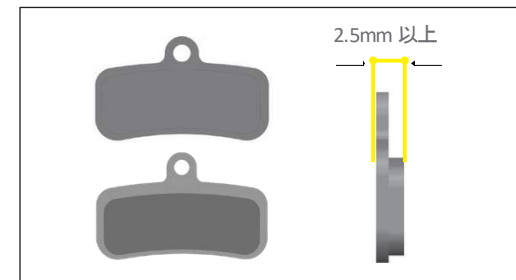
メンテナンス

ブレーキディスク点検



ブレーキディスクの厚さは定期的に点検する必要があります。最小厚さは1.6mmです。

ブレーキパッド点検



注意

塗装面にブレーキフルードを飛散させないでください

塗装面を傷つける恐れがあるため、表面を拭かないでください。プラスチック部品にブレーキフルードをこぼすと腐食の原因となります。リザーバーキャップを外す前に、必ずリザーバーの下に油吸収タオルを敷いてください。

警告

液面レベルを確認する前に、ライトビー電動バイクは平坦な場所で直立状態にし、ハンドルバーは中央位置に保つ必要があります。これにより、リザーバータンクが水平位置にあることを保証します。

新しいブレーキフルードを追加する際、ブレーキフルードが溢れた場合は、他の部品の汚染を防ぐため直ちに除去してください。

メンテナンス

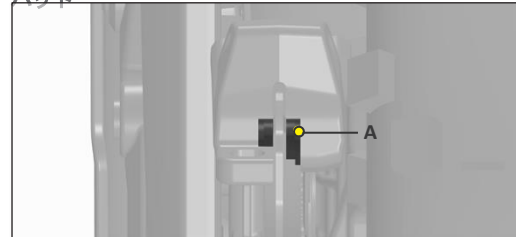
ブレーキパッドは定期点検表に指定された間隔で点検する必要があります。詳細は10.2ページを参照してください。ブレーキキャリパー側からブレーキパッドの残量を目視で確認してください。

フロントまたはリアのブレーキパッドの厚さが2.5mm未満の場合は、ブレーキパッドを交換してください。ブレーキパッドが損傷している場合は、損傷の程度にかかわらず、両方のブレーキパッドを直ちに交換してください。

ブレーキパッドの交換

新しいフロントおよびリアブレーキパッドAまたはブレーキディスクを交換した後は、ブレーキディスクとブレーキパッドが適合し、互いに調和するよう、点検と慣らし運転を行うことを推奨します。適切な慣らし運転により、制動感が向上し、制動時の異音を低減または解消できます。

フロント&リアブレーキパッド



注意

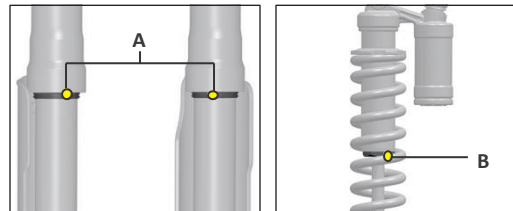
ブレーキパッドは必ず対で交換してください

警告

新しいブレーキシステムまたは新しいブレーキパッドを使用する場合、初期の制動力が弱い場合があります。ブレーキシステムが正常な制動力を発揮できるよう、低速走行でブレーキパッドとブレーキディスクの慣らし運転を行ってください。

ガスボンジョンシステム

1. ショックアブソーバーの表面は、特にメインチューブ表面に付着した泥や砂について、各走行直後に清掃することを推奨します。高圧洗浄機で洗浄する際は、防塵シールAおよびBに向けて上方向への洗浄を厳禁します。これにより泥や砂がシール内部に流入し、漏れの原因となります。
2. 中性洗剤と柔らかい綿布のみを使用して清掃してください。腐食性溶剤は防塵オイルシールを損傷する恐れがあります。
3. 洗浄後、メインチューブの表面に潤滑グリースを塗布し、表面全体を十分に潤滑することを推奨します。



メンテナンス

警告

ショックアブソーバーには高圧ガスまたは液体が含まれている。

ガスまたは液体を含んでいます。ショックアブソーバーの改造や分解を試みないでください。

走行後はショックアブソーバー及びガスボンベが高温になっている場合があります。火傷の恐れがありますので、直接触れないでください。ショックアブソーバーの不適切な操作は、損傷、爆発、および重大な人身事故を引き起こす可能性があります。

メンテナンスについては、10.2ページの定期メンテナンス表を参照してください。調整については、7.7ページおよび7.9ページを参照してください。

メンテナンス

ホイールとタイヤ

ホイールとタイヤに以下の不具合がないか

確認してください：

リムの変形またはひび割れ；

リムへの衝撃痕；スポークの

緩みまたは変形；

トレッド部またはサイドウォール部の切り傷、ひび割れ、貫通損傷、トレッドブロック欠損

タイヤの膨らみ；

タイヤトレッドの偏摩耗

タイヤ取り付けラインの高さが不均一。

上記のいずれかの状態を確認した場合は、直ちにホ

イールまたはタイヤを交換してください。

警告

不適正なタイヤ空気圧、
タイヤ故障の一般的な原因です。長期間にわた
る不適切なタイヤの空気圧はタイヤ損傷、ト
レッド剥離、さらにはオートバイの制御不能を
引き起こし、重大な人身事故につながる可能性
があります。

警告

走行前には必ずタイヤ空気圧を確認し、
適切な空気圧に調整してください。タイヤが冷
えている状態で、正確な空気圧計を使用してタ
イヤの空気圧を確認してください。タイヤの空
気圧が低すぎると、外側のタイヤの転がり抵抗
が増加し、チューブがずれる可能性もありま
す。

標準タイヤ空気圧表

タイプ	フロント	リア
オフロード	225 kPa	225kPa

注記

オフロードタイヤの場合、
トラックやトレイル走行時には、それに応じて
タイヤ空気圧を下げることをお勧めします。

メンテナンス

チェーン

チェーンの点検およびメンテナンスについては、10.2
ページの定期メンテナンス表を参照してください。

1. チェーンとスプロケットを清潔に保ってください。
2. チェーンの摩耗、張力、潤滑状態を確認してくだ
さい。

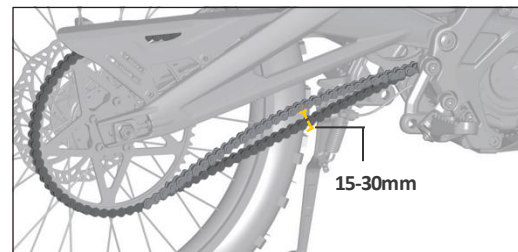
(1) キースイッチからキーを抜いた後、メイン電源スイ
ッチをオフにし、リフトスタンドで車体を支え、後輪
を浮かせた状態にします。チェーンを上下に動かし
、振れ幅が推奨範囲（15～30mm）内にあるか確認し
てください。

(2) 調整時は、まず後輪のアクスルナットを緩め、そ
の後左右の調整ボルトを調整してチェーンの張りを推
奨範囲内に収める。

(3) チェーンには適量のチェーンオイルまたはチェー
ングリスを塗布してください。

注意

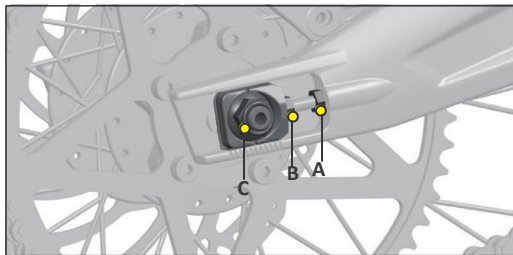
1. チェーンが上下に揺れるとき
推奨範囲を超えると、スイングアーム保護ゴム
を摩耗させます。速やかに15mmに調整してく
ださい。
2. 調整後、左右のチェーンアジャスターのマ
ークはスイングアーム上のマークに対して対称
になるようにしてください。



メンテナンス

チェーン調整手順

1. キースイッチからキーを取り外し、メイン電源スイッチをオフにした後、リフトスタンドで車体を支え、後輪が浮いた状態にします。
2. 後輪車軸ナットCを緩めます。
3. 左右の調整ボルトBのロックナットAを緩める
ボルトBのロックナットAを緩める。
4. チェーンが規定範囲内に調整されるまで、左右の調整ボルトBを均等に調整します。
5. リアアクスルナットCを締め付けます。
6. 左右のロックナットAを締め付けて固定する
調整ボルトBの位置。
7. バイクの試乗を行ってください。
8. 試乗後、チェーンが正しく調整されているか再度確認し、必要に応じて再調整してください。



注意

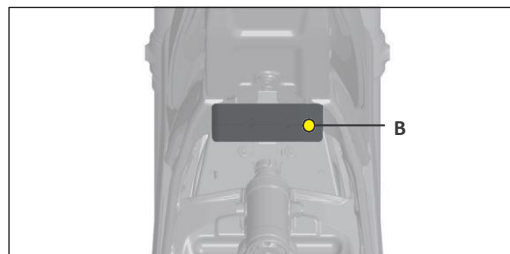
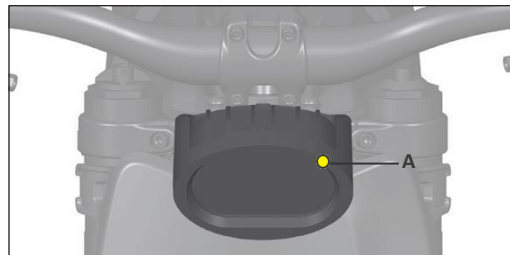
チェーンの張りを調整する際は、
両側の調整ボルトを均等に調整してください。

10.13

メンテナンス

ライトの交換

ヘッドライトA/テールライトBが破損した場合は、正規販売店に連絡し、完全な交換を行ってください。



バイクの清掃

1. スポンジまたは清潔な柔らかい布、中性洗剤と水を使用して、バイクを優しく洗浄してください。
2. ダッシュボードの清掃時は細心の注意を払ってください。他の部品より傷がつきやすくなっています。
3. 洗浄後、洗剤の残留物を完全に除去するため、水で十分にすすぎ洗いしてください。
4. 柔らかい乾いたタオルでバイクを拭き取ってください。
5. 洗浄後は、車両に異常がないか注意深く点検してください。

10.14

メンテナンス

注意

不適切な清掃はモーターサイクルを損傷する可能性があります。

ベアリング、シール、電気部品、プラグには高圧洗浄機を使用しないでください。ライトビー電動バイクの寿命を延ばすため、定期的な清掃とメンテナンスを行い、洗浄後は速やかに拭き取り乾燥させることを推奨します。

プラスチック部品には、刺激の強い化学製品を使用しないでください。強力な腐食性洗剤、溶剤、シンナー、燃料（ガソリン）、錆取り剤または錆防止剤、ブレーキフルード、不凍液、電解液に接触した布やスポンジの使用は避けてください。

注意

ライトビーの清掃には、バイク部品を損傷しないよう、高圧洗浄機を慎重にご使用いただくことをお勧めします。

警告

洗浄後、走行開始前にブレーキシステムが正常に作動することを必ず確認してください。

ホイールとタイヤの洗浄

強力な酸性ホイールクリーナーの使用は避けてください。頑固な汚れを落とすためにこの種の製品を使用する場合は、短時間で洗浄し、すぐに乾燥させてください。

注意

タイヤは洗浄のみ必要です。タイヤのメンテナンスは一切不要です。

メンテナンス製品はタイヤと地面の摩擦を減らし、タイヤの早期劣化を招く可能性さえあります。

長期保管

長期間（30日以上）使用しないオートバイについては、バッテリーレベルを約40%から50%に維持し、ライトビーのメイン電源スイッチをオフにすることを推奨します。

バッテリーパックは保管中も徐々に放電します。少なくとも月に1回はバッテリーパックの残量を確認してください。バッテリー残量が20%を下回った場合は、40%から50%まで充電する必要があります。

メンテナンス

ライトビーを再度ご使用になる際は、バッテリーパックを完全に充電し、最適な状態に回復させてください。パワーシステムの寿命を延ばすため、ライトビーは涼しく風通しの良い場所に保管してください。高温多湿の場所に保管すると、バッテリーパックと電気システムの寿命が短くなります。バッテリーおよび電気システムの詳細については、8.1ページを参照してください。

注意

ライトビーは、バッテリー残量が20%未満の状態では保管しないでください。バッテリーパックを20%未満で長期間放電すると、バッテリー寿命が短くなるか、バッテリーパックが損傷する可能性があります。過放電または長期にわたる極端な低バッテリーレベルによるバッテリーパックの損傷は、保証の対象外となります。

警告

認定された専門技術者のみがバッテリーパックのメンテナンスサービスを提供できます。

バッテリーパック内部部品の無許可操作は非常に危険です。バッテリーパックを分解しないでください！

ヒューズ

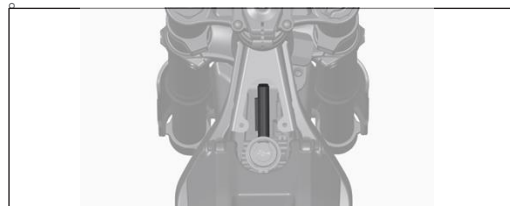
オートバイの電気系統には過電流保護装置が装備されています。ヒューズは使い捨ての保護装置であり、過負荷時には回路を保護するために溶断します。ヒューズを交換する際は、同じ仕様のモデルを使用してください。

注意

ヒューズが繰り返し切れる場合は、電気系統の点検のため販売店にご連絡ください。

ヒューズボックス

ヒューズボックスはUSBカバーの下にあります



ヒューズボックスには保護キャップが付いており、ヒューズにアクセスするにはまずこのキャップを開ける必要があります。キャップを開けるには、ラッチをしっかりと押し下げ、キャップを開けてください。ヒューズの交換方法:

1. ヒューズボックスのキャップをつまみ、ヒューズボックスの右側に開けます。
2. 故障したヒューズを、同じ仕様のモデルと交換する。

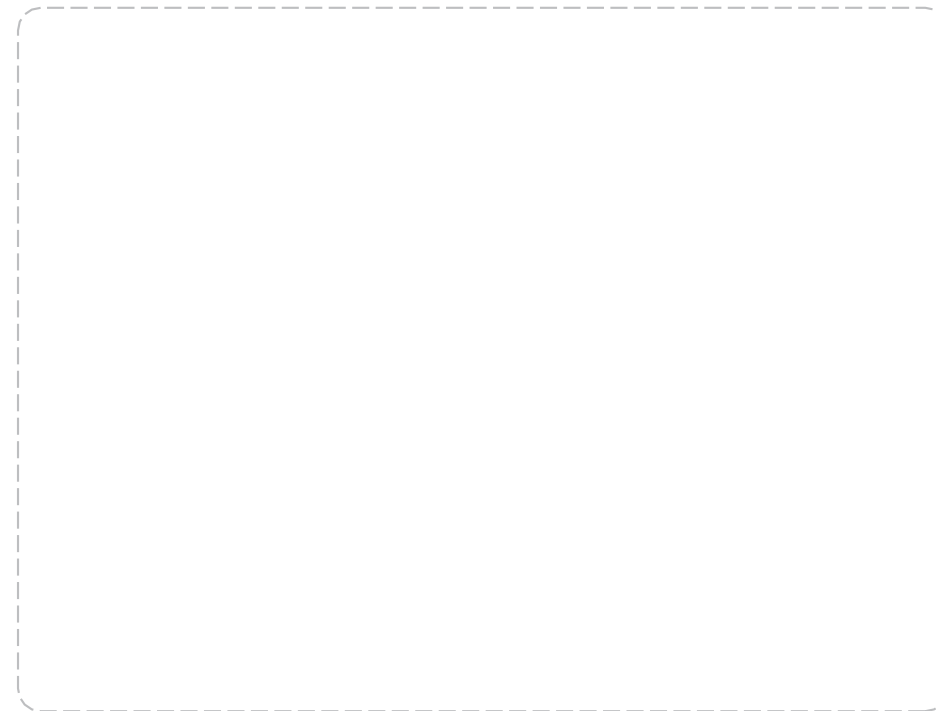
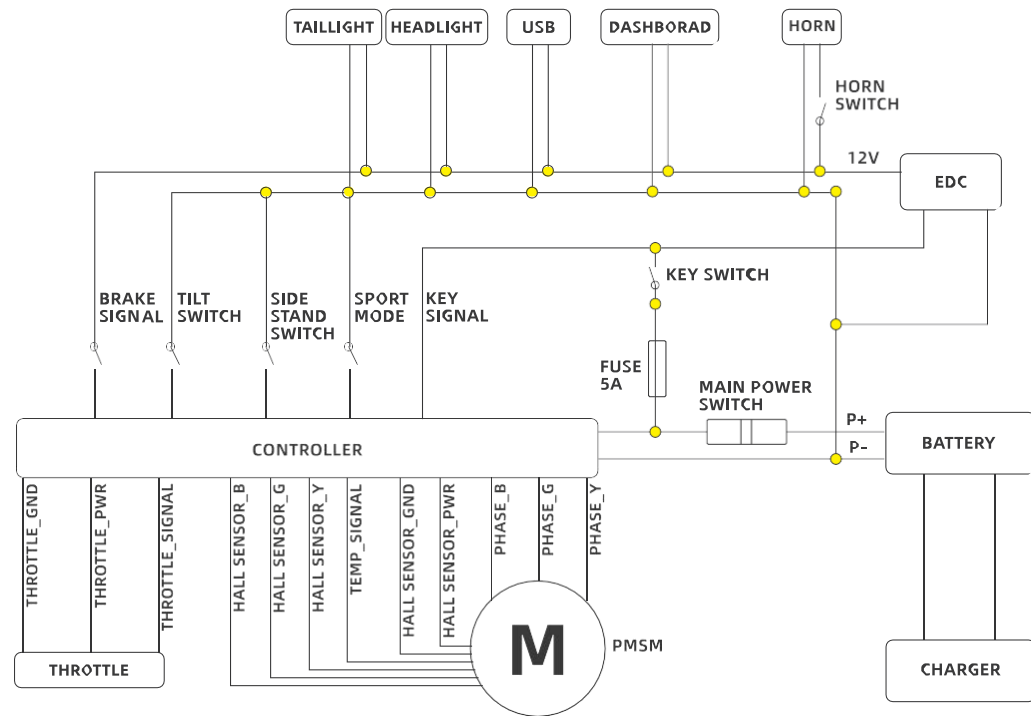
注意

ヒューズボックスには予備のヒューズが入っています。

ライトビー純正部品

ライトビー電動バイクには、サーロン社が指定する部品およびアクセサリーの使用が必要です。ライトビー電動バイクのメンテナンス用純正スペアパーツは、販売店を通じて入手できます。

ライトビーム電気回路図



トラブルシューティング

トラブルシューティング

すべてのライトビーは納品前に厳重に検査されていますが、まれに技術的な問題が発生する可能性があります。以下の情報は、問題の特定や基本的な修理・メンテナンスを行うためのガイドラインを提供します。ご自身で問題を解決できない場合は、お近くのSurron正規販売店までお問い合わせください。お住まいの地域に販売店がない場合は、Surronアフターサービスチームまでご連絡ください。

診断ケーブルインジケータは2秒間隔で長時間点滅し、0.5秒間隔で短時間点滅します。長い点滅コードは10、短い点滅コードは1であり、累積合計が現在のエラーコードとなる。（例：長い点滅2回+短い点滅1回は10+10+1に相当し、エラーコードは10+10+1=21となる。）

1. リフトスタンドでオートバイの車体を支え、後輪が浮くようにする。
2. バッテリーコンパートメントカバーを開ける（6.2ページ参照）。
3. メイン電源スイッチ付近の対応するプラグを見つけ、診断ケーブルをプラグに接続します。
4. キーを挿入し、オートバイの電源を入れ、スロットルを回してください。
5. 診断ケーブルインジケータの点滅間隔と点滅回数を観察し記録する。11.7 ページ「エラーコードと故障リスト」を参照。

診断ケーブルの使用



トラブルシューティング

温度に関する注意事項

低温時の注意事項

寒冷地環境は、ライトビーのバッテリー容量に恒久的な影響を与えません。ただし、低温はバッテリーパックが放出できる電力量に影響を与える可能性があるため、ライダーは走行距離や出力の低下を感じる場合があります。したがって、25°Cの環境と比較して0°C（32°F）以下の環境で使用する場合（77°F）、ライトビーは一時的に航続距離が約30%減少する場合があります。極寒の天候下では、Light Beeは一時的に出力が低下し、最高速度に達しない場合があります。

気温が極端に低い状態での電動バイクの走行は推奨されません。その場合、バッテリーパックは充電時に0°C（32°F）以上の周囲温度に置く必要があります。Light Bee電動バイクのバッテリー管理システム（BMS）は、バッテリーメーカーの厳格な制限により、バッテリーパックの放電温度が20°C（4°F）を下回ることを許可しません。

注意
診断ケーブルが報告する故障は単一または複数の故障を示す場合があります、インジケータが点滅してそれらを示します。故障の表示期間は15秒を超えない。表示サイクル中は、複数の故障が表示されていないか注意すること。

トラブルシューティング

ライトビーは適切な温度環境で保管することを推奨します。

以下の条件で保管をしてください。

1. 推奨周囲温度：0℃以上

2. 保管前にバッテリーパックを40%～50%まで充電してください。少なくとも月に1回はバッテリー残量を確認してください。バッテリー残量が30%を下回った場合は、40%～50%まで再充電してください。

3. バッテリーパックは、周囲温度が0℃（32°F）以上で充電する必要があります。バッテリー自身の保護機能により、内部温度が0℃（32°F）では充電できません。

保管温度が20℃（-4°F）を下回ると、バッテリーパックの性能が永久的に低下する可能性があります。温度を-20℃以上に保ってください。

（-4°F）以下の環境下では、バッテリーパックが冬季保管中に永久的な損傷を受けないよう、長期保管のガイドライン（10.16ページの「長期保管」を参照）に従ってください。

高温環境

高温環境下では、バッテリーの性能変化は発生しません。ただし、バッテリーパックの温度が65℃（149°F）を超えると、モーターコントローラーが電力出力を制限します。温度がさらに上昇し続ける場合、バッテリー出力は停止されます。

（149°F）を超えると、モーターコントローラーが出力制限を行います。温度がさらに上昇し続ける場合、バッテリー出力は停止されます。

バッテリーの内部温度が60℃（140°F）を超えると、バッテリー管理システムは充電を許可しくなります。

注意

バッテリーパック自身の保護機能により
バッテリーパックは0℃（32°F）以下の温度では
充電できません。同様に、冬季にバッテリーパ
ックの温度が-20℃（-4°F）以上であれば、パッ
テリー残量が30%以上を維持することでパッテ
リーパックの損傷を回避できます。

注意

ライトビーおよびバッテリーパックを、40℃（104°F）を超える環境や直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。これによりバッテリー性能の劣化が加速する可能性があります。

安全インタロック

バッテリーパックがライトビー電動バイクに接続された際、バッテリー管理システムが重大な内部故障を検知した場合、バッテリーパックの損傷を防ぐため、以下の2つの対策のうち1つまたは両方が実施されます：

1. 乗車禁止。バッテリー残量が0の場合、またはバッテリー管理システムが重大な内部故障を検知した場合、問題が解決されるまでモーターサイクルの使用は禁止されます。

2. 充電禁止。バッテリー管理システムが重大な内部故障を検知した場合、問題が解決されるまで充電を禁止します。

トラブルシューティング

ライトビーの2使用上の注意

ライトビーには高電圧部品が搭載されています。ご使用の際は適切な予防措置を講じてください。高電圧部品は危険であり、感電、火傷、さらには重篤な人身事故を引き起こす可能性があります。

安全のため、常にオートバイ部品に貼付されているラベルの指示に従い、高電圧部品、ケーブル（オレンジ色の外管でマークされている）、またはコネクタに触れたり、取り外しや交換を試みたりしないでください。事故が発生した場合、ケーブルに接続されている高電圧端子や部品には絶対に触れないでください。電動バイクで火災が発生した場合は、まず自身の安全を確保し、その後クラスD消火器を使用して消火してください。炎が消えた後は、大量の水または水系消火器で冷却してください。

トラブルシューティング

警告

ライトビーは60V高電圧システムを採用しています。

使用後、電源システムは高温になり触れない場合があります。高電圧と高温に注意し、電動バイクの安全規則と規制をすべて遵守してください。

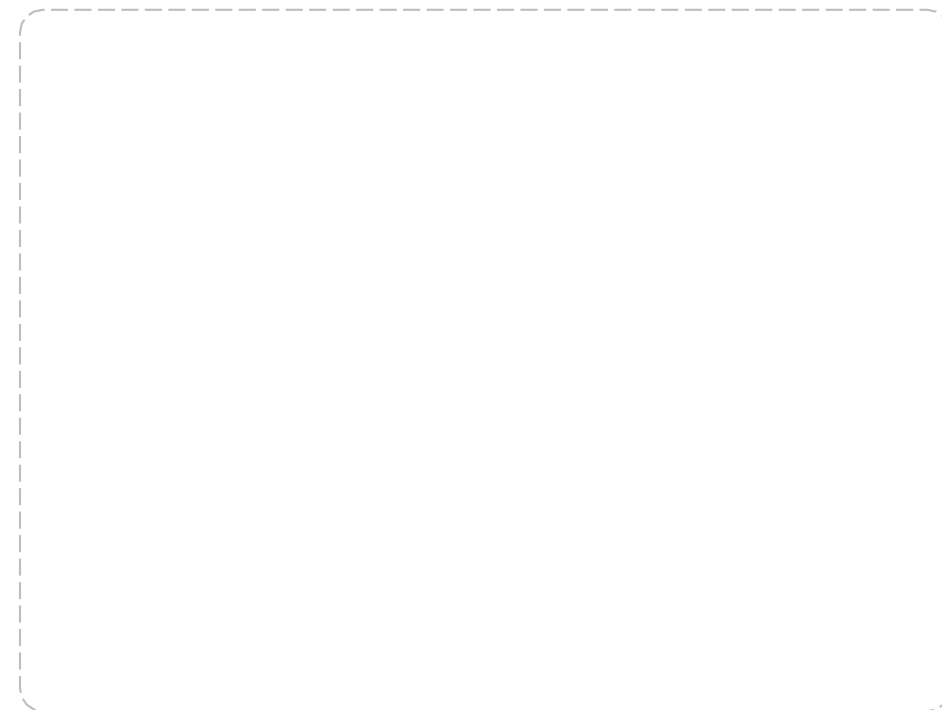


高電圧部品エリア

重大な警告

ライトビーの高電圧回路システムは、ユーザーによるメンテナンスを許可していません。高電圧部品、ケーブル、またはコネクタの取り外しや交換は、深刻な感電、火傷、さらには生命に関わる重傷を引き起こす可能性があります。

トラブルシューティング



エラーコードと障害リスト

エラーコード	エラーの説明	トラブルシューティング
1	正常に動作中	/
2	コントローラMOS故障	製造元または正規販売店に連絡
3	コントローラーハードウェア過電流	車両の電力制限使用
4	コントローラーファームウェア過電流	キースイッチをOFFにしてから再びONに戻す
5	モーターの相欠け、動作が詰まる	モーターの相線ケーブル接続が緩んでいないか確認する
6	モーター位置センサー（ホールセンサー）故障	メーカーまたは正規販売店に連絡
7	ロックドローター保護	モーターがブロックされていないか確認してください
8	コントローラー過熱、電力制限	車両パワーレベル1制限使用
9	コントローラーレベル2過熱	走行を停止し、温度が下がるまで待機
10	モーター過熱、出力制限	車両出力レベル1制限使用
11	モーターレベル2過熱	走行を止めて温度が下がるのを待つ
12	メインケーブルレベル2過電圧	回生ブレーキOFF
13	メインケーブルレベル2 電圧不足	バッテリーバックを充電してください
14	スロットル開放保護	スロットルがアイドル位置に戻らないか、スロットルケーブルが短絡していないかを確認する
15	スロットル故障／スロットル信号エラー	スロットルケーブルの短絡または断線を確認する
16	ブレーキ信号作動	ブレーキスイッチの短絡を確認
17	モーター温度センサーの故障	メーカーまたは正規販売店に連絡してください

エラーコード	エラー内容	トラブルシューティング
18	MOS放電不良	製造元または正規販売店に連絡
19	バッテリー温度センサーの故障	製造元または正規販売店に連絡してください
20	バッテリー放電レベル2 過熱	走行を止めて温度が下がるのを待ちなさい
21	コントローラーのサンプリングエラー	製造元または正規販売店に連絡してください
22	サイドスタンドスイッチ作動	サイドスタンドが下がっていないか確認
23	ティルトスイッチ作動	キースイッチをOFFにしてから再度ONにする／傾斜スイッチを確認
24	キースイッチ電源喪失保護	キースイッチとコントローラーの接続を確認
25	バッテリーレベル1 低電圧、電力制限	バッテリーバックを充電してください
26	充電MOSレベル2 過熱	充電を停止し、製造元または認定販売店に連絡してください
27	バッテリー通信障害	車両通信回路を確認
28	バッテリーレベル2 電圧不足	バッテリーバックを充電してください
29	バッテリーレベル2 低温	バッテリー温度が上昇するまでお待ちください
30	バッテリーレベル1 過熱、出力制限	走行を中止し、温度が下がるまで待機してください
31&32	コントローラーとバッテリーの通信障害	車両通信回路を確認してください
33	バッテリー残量が少なすぎます	バッテリーバックを充電してください
34	バッテリーセルレベル2の充電温度が低すぎます	バッテリー温度が上昇するまで充電を停止してください
35	バッテリーレベル3 過電流	電源システムが遮断/損傷していないか確認

トラブルシューティング

一般的なトラブルシューティング

障害の説明	考えられる原因	トラブルシューティングの解決策
車両の電源が入らない	バッテリープラグが正しく接続されていない	バッテリープラグを確認
	バッテリーレベルが低すぎる	バッテリーパックを充電する
	バッテリーが温度保護状態に入りました	温度が正常に戻るまでお待ちください 動作状態に戻るまで
	メインケーブルのヒューズが切れています	すべてのケーブルを確認し、ヒューズを交換してください
	キースイッチが正しく作動していない	キースイッチケーブルの接続を確認 または新しいキースイッチと交換してください
	DCコンバータの故障	DCコンバーターを交換してください
	バッテリーの故障	バッテリーを修理または交換してください サーロンアフターサービス拠点にて
車両の電源は入っているが動かない	サイドスタンドスイッチ保護	サイドスタンドを収納する
	ブレーキオーバーライドスイッチ保護	ブレーキ信号スイッチを確認
	チルトスイッチが作動しリセットされていない	キースイッチをオフにして再度オンにする その後、バイクを持ち上げる
	スロットルがアイドル位置にない 電源投入時	スロットルストロークを確認し調整する
	バッテリー低レベル保護	バッテリーパックを充電してください
	モーター温度が高すぎます	走行を中止し、 温度が下がるまで待機
	コントローラー温度過昇	
	サイドスタンドスイッチの故障	サイドスタンドスイッチを外すか交換してください
	テイルトスイッチの故障 -FETCH LIGHT-も起来-	チルトスイッチを外すか交換する

トラブルシューティング

故障内容	考えられる原因	トラブルシューティングの解決策
車両の電源は入っているが動かない	スロットル接点の不良または損傷	スロットルを交換する
	コントローラープラグの接触不良	コントローラーのプラグを再挿入する
	モーターエンコーダーの接触不良	モーターエンコーダの接続を確認
	コントローラーまたはモーターエンコーダーの故障	コントローラーまたはモーターの修理/交換は サーロンアフターサービス拠点にて
車両の電源は入っているがバッテリー表示なし	バッテリーインジケーターが正しく接続されていない	バッテリーを修理または交換してください。 Surronアフターサービス拠点にて
	バッテリーインジケーターが破損している	バッテリーを修理または交換してください Surronアフターサービス拠点にて
充電器が動作しない	バッテリーが温度保護状態に入る	温度を正常な動作状態に戻す 動作状態に戻るまで
	充電器プラグの接触不良	充電プラグを再挿入してください
	充電器の故障	充電器を交換してください
	バッテリーの故障	バッテリーを修理または交換してください サーロンアフターサービス拠点にて
無効な走行モード モード/出力制限	バッテリー残量が不足しています	バッテリーパックを充電してください
	バッテリー温度保護	温度が動作状態に戻るまで お待ちください
	モーターまたはコントローラーの温度が高すぎます	
	走行モードスイッチの故障	走行モードスイッチを交換してください
USBポートに電力供給なし	USBプラグの接触不良	USBプラグの接続を確認
	USBコンバーターの故障 -FETCH LIGHT-も起来-	USBコンバーターを交換する

注記

上記の内容は随時更新・補足される可能性があります

内容を更新・補足する場合がございます。最新バージョンは販売店または公式ウェブサイトでご確認ください。

ライトビーの点検・整備後、適切な整備記録が記入されていることを必ずご確認ください。「備考」欄に、次回点検時に確認したい事項やご自身で覚えておきたい内容を記録してください。

100KM

走行距離計の読み取り値		実施者		日付	
保守記録					
備考					

13.1

500km

走行距離		実施者		日付	
整備記録					
備考					

13.2

1000KM

走行距離計の読み取り値		実施者		日付	
整備記録					
備考					

13.3

2000km

走行距離計の読み取り値		実施者		日付	
整備記録					
備考					

13.4

5000KM

走行距離計の読み取り値		実施者		日付	
整備記録					
備考					

10000km | 12ヶ月

走行距離		実施者		日付	
整備記録					
備考					

ライトビー電動バイク アフターサービス記録シート

	走行距離計の読み取り値	保証項目	実施者	日付	備考
1					
2					
3					
4					
5					

ライトビー電動バイク アフターサービス記録シート

	走行距離計の読み取り値	保証項目	実施者	日付	備考
6					
7					
8					
9					
10					

パラメータリスト	
車両モデル	QL4000DY-A
寸法	1850x780x1080mm
最低地上高	270mm
シート高	830mm
乾燥重量/車両重量	57kg
積載量	100kg
タイヤ	フロント オフロード-70/100-19 リア オフロード-3.00-18
アシスト機能	回生ブレーキ (SPORTモード時)
ホイールベース	1255mm
フロントフォークストローク	200mm
リアショック/ホイールストローク	85/210mm
電力システム	PMSM+FOC正弦波コントローラ
定格出力	1000W
最大出力	8000W
最大トルク	266N・ m
最高速度	75km/h
航続距離	75km (@40km/h)
バッテリータイプ	リチウムイオン電池 60V/40Ah
走行モード	Sports + Ecoモード
充電時間 (20-80%)	2時間
フレーム設計	アルミ鍛造フレーム